

可部カラスの会

第 61 号 2003.2.15

事務局 安佐北区可部五丁目 7-16
 Tel(Fax)815-1833(新澤)
kabekarasu@ma8.seikyou.ne.jp(田中)
<http://ha8.seikyou.ne.jp/home/kabekarasu/>

新しいパワーを感じさせた 五丁目町内会 レトロバス復元前年祭で 作業所ウイング



五丁目の餅つき

前日メンバーの頭を悩ませた氷雨もあがって、忙しい一日がやってきました。2月9日(日)午前9時会場には五丁目の皆さの顔も見えます。今日は「レトロバス復元前年祭 in 可部」の日です。五丁目の皆さんは「せっかく大勢の人が来てく

れてんじゃけえ頑張らんにゃあ」と餅つきの準備、ウイング作業所はレトロバスマーク入り特製のクッキー、そしてカラスは焼芋、ぜんざい、お酒に可部カラスの唄CDと、たくさんのメニューで祭の雰囲気は徐々に盛り上がります。



ウイングのクッキー

小さな使節に歓声 運転手と模型に

そして午後1時半「レトロバスが可部に到着しました」の案内に会場で待ち受けていた500人の人たちは一斉に入口へ…。レトロ調の帽子の子どもが運転するバスの模型が見えると、場内から「うわ〜っ、可愛い」の声が。場内を一周した所で早速記念撮影。「カラスは、ほんまに面白いことをやるのお」竹酒で赤いお顔の男性がつぶやきます。会場の盛り上がりにあわせて、各ブースも大繁盛。クッキーはもとより餅入りぜんざい、焼芋、CDにも行列が見えます。



そして「レトロバス」の紙芝居も子どもの大人気。ものめずらしそうに見入っていました。会館で一息入れた横川のみなさんが引き上げる時間、「有難う、また来てね」笑顔で送る声に横川の皆さんも満足そうな笑顔で応えてくれました。

た。

どのブースも売れ行き上々

さてお店の売れ行きを尋ねると、「搦いたらすぐにみて(なくなって)しまう。面白かったよ」とは五丁目の餅つき担当の声、ウイングのクッキーも完売「一緒に店を出せてよかった。みんな喜んでます」、ぜんざい組「足らんかったあ。もうちょっと余計に仕入れとくんじゃったあ」。さらに「可部カラスの唄」CDも好評でこれまたごきげん。みんな力いっぱいがんばって、大きなパワーを感じ、飲んだお酒も特別おいしかった一日でした。

定例会じゃあこがいな話をしたんよ

協賛を募る

高松山植生の説明板設置

新澤夫妻・田中・山口・三木

西区老人会研修会

集合時間 9時現地集合

焼芋 山口・木原

CD担当 加納・和田木

焚き火・酒の燗・かがり火

展示コーナー 田中・樋野村

ペーパークラフト 加納・山下

餅つき 五丁目町内会

クッキー・コーヒー ウイング

ぜんざい 田中

紙芝居 樋野村、新澤慶

当日の役割

ぜんざいは有料 100円

クッキー販売 500円、300円、Etc

1月22日(水)

出席 カラス22、ウイング2名

今年^{じょうげ}は みんなで上下へ行こうやあ

今年の先進地研修は、広島県甲奴郡上下町に行ってみようと考えています。この町は早くから住民による活動が活発になったところと聞いています。

平成に入って自費による町並み保存の工事が始まり、続いて民間団体による「上下町町並みづくり研究会」が発足、商工会が中心で景観を活用した商店街の振興事業が試みられています。

まだまだいろいろありますが、何と言っても元MGコースホステル経営の盛岡まさ子さんはご存知の方も多と思いますが、森岡さんの喫茶店でも休憩を予定しています。

3月9日（日）日帰りの研修旅行ですが、お知らせの期間が短いので、とりあえず会報でお知らせしておきます。詳細は追って事務局から連絡します。

寒い日に横川で話しました 西区老連指導者講習会

1月30日（木）、西区老連主催の「高齢者パワーで街おこし」の研修会は、前日の大雪でダウンしたカラスがいるくらいですから、西区の皆さんに影響があってもやむを得なかったでしょう。参加された人は予定よりやや少なめの40名くらいでした。

カラスは新澤夫妻、田中、三木、山口と女性主体のメンバーです。会場は設備が充分整っている西区民文化センターです。

最初は映像を利用して“可部のカラス”がどんな活動をしてきたのかを中心に説明しました。

その後、西区老人クラブ連合会のコーディネーターの司会で、カラスの活動に対する質問や意見のやりとりで研修を深めました。

参加された皆さんは、終始熱心に聞いてくださいました。都市市街地での老人クラブの活動は地域の活性化で期待されながらも、会員の確保や活動内容などに困難な問題があるように感じました。

なお、「カラスの話を聞いて元気を貰った」という声もありました。また「あんな面白い話ならうちの町内会でも聞かせてほしい」と言う役員さんもあったようです。



情報を共有できる拠点づくりを

ひろしま まちづくりフォーラムで 新澤さん

2月15日（土）午後1時から、まちづくり市民交流プラザで開かれた「ひろしままちづくりフォーラム」に事務局長の新澤さんが出演、『市民主導のまちづくりの展望と課題』の中で“まちづくり活動の情報を共有し、何時でも誰でも立ち寄ることのできる拠点づくりが今後の課題”と報告しました。

そのほかに4名の意見発表があり、その後5グループに分かれて問題点ごとの意見交換を行いました。カラスからは新澤慶、加納、上森、和田木が参加して討論に加わりました。

カラスのスケジュール

カラスの定例会

2月 26日（水）

3月 12日（水） 26日（水）

お断り 2月12日は公民館が祝日の振替え休日のため定例会は開催されませんでした。

カラスのイベント等

3月9日（日）先進地研修
上下町を尋ねて

カラスは今 亀山中でも頑張ってます

1月10日から3月7日までの毎週火曜日と金曜日、カラスが亀山中で2・3年生社会科の授業に協力しています。内容は可部にかかわる歴史（鋳物、舟、自動車、鉄道、可部と京都）で、特に鋳物の歴史では広島工業大学、小西教授のご協力も頂いています。

その他の担当は新澤が鉄道、田中が舟、和田木が自動車、可部と京都が友近布陣で頑張っています。

可部カラスの会

第62号 2003.3.15

事務局 安佐北区可部五丁目 7-16

Tel(Fax)815-1833(新澤)

kabekarasu@ma8.seikyoku.ne.jp(田中)

<http://ha8.seikyoku.ne.jp/home/kabekarasu/>

素晴らしい活動に触れて感激 まちづくりに取り組む各地を訪ねて

3月9日(日)カラス恒例“先進地の研修”、今回は上下町を中心として各地で活躍しておられる実態を見聞して帰りました。紙面の関係で当日のメイン上下町においてユニークで素晴らしい活動を続けている「上下町町並みづくり研究会」松井義武さんから町づくりの活動状況を聞き、実際に町並みを案内してもらった内容に絞って報告します。

1981(昭和56)年、松井さんは定年を迎えて気がついた。寂れた町、何とかせんにゃあいけん。

商工会もがんばってイベントは考えるが、どの町も金太郎飴で同じ企画。上下町は特色を出すため、マップづくりと“白壁の似合うロマンのまち”をキャッチフレーズに取り上げることになりました。「涙ぐましい努力なんですよ」と笑う松井さん。

活動を続けるうち上下町の商工会も動き始めて助成金も出るようになり、平成6年商店街で始まった町並み整備と8年に県の補助金が出されたことでナマコ壁を塗り替えた。

物怖じすることなく前進を続ける皆さんの意気込みの極めつけは、古いスズラン灯の塗り替え。経費節減のため有志で茶色のペンキを塗り始めたが勢いづいて電柱も塗った。「ついでに郵便局のポストまで茶色にしてしもうて…後から局長さんにエライこと

叱られてしもうた。」

何をするにもやる気いっぱい、楽しさいっぱいの感じ。

“ツチノコ探し”もやったが「居りもせんもので人を呼んで

は申し訳ない」との声があつて、「そいじゃあ山へ火(灯)をつけよう」言うて、翁山へ電飾をやつてから阪神淡路大震災が発生。そこで「がんばれ神戸」と電飾のエールを送ったら神戸から礼状がとどいたとかの話は尽きず、続いて町並みの見学へ…。

明治時代後半に栄えた町並みは、町中のいたるところに残されています。復元されたナマコ壁、格子、その上逆境を逆手に取る仲間、「造酒屋を潰した社長です」と屈託のない社長、精米作業場の棚には三次、上下などの土人形が展示されており、ひたむきなまでにコレクションを大事にする人柄が伺えました。

「総合学習の中で学校でも取り上げるが、地域に根付いてない先生ばかりでむづかしい。今じゃ～わしらが元気な間、頑張りやあええ、そう思うとります。」松井さんは町並み案内をこんな言葉で結んでくれました。



定理会じゃあ こがあな話をしたんよ

2月26日(水) 参加者11名

ひろしま まちづくりフォーラム03

2月15日(土) 市民交流プラザ

話題提供者 新澤

先進地視察3月9日(日)

集合 8時20分 分区分役所前を30分出發

担当 資料 瀬戸・新澤

写真 記録 田中

高松山植生の解説札かけ

2月28日 高松山登山口 集合

共同作業所ウイングの応援

元気で頑張っている。応援したい

レトロバス復元賛助会員の募集

次回定例会でまとめる

太田川たんけん協会HP書きこみ活動

可部線の再生を考える

我々でできることをやろう

3月12日(水) 参加者 9名

「すこやか広島の取材(林田さん)あり

可部カラスの唄をベースに

新バージョンの素晴らしい曲ができた

先進地研修のまとめ

上下のパワーと逆転の発想はすごい

案内役の松井さんもすごい

写真を見ながら意見交換

レトロバス賛助会員の獲得に力点を

可部・佐東ライオンズクラブで紹介

会報を通じて積極的な呼びかけを…

可部線再生と存続を考える会

署名運動に協力

太田川たんけん協会HPに情報提供を

子どもたちと一緒に ホタルを育てよう

3月9日(日)の先進地視察研修で、上下ホタル愛好会事務局長の中元 實さんが甲奴町の食事処「わらべ」で我々を待っていてくださいました。以下は中元さんのお話の概要を報告します。

「私らが小さかった頃、あれほどいっぱいおったホタルがどうしておらんようになったんじやろう」という疑問から、ホタルが住みつくような環境づくりが必要と考えるようになりました。

活動のテーマに“ホタルが住みつくような水環境をつくる”を挙げて活動を開始した中元さん、小学校の子どもと共にホタルの住める水のきれいな町づくりについて学校の説得に当たったようです。ホタルを捕って産卵、幼虫を育成して子どもたちと放流

したところ作戦は大成功。川の水質浄化とホタルの育成を一緒に活動を7年間続けて来られました。

活動すると金はついて来る。行政の補助で子どもに分かりやすい「ごみのない水のきれいな町づくり」パンフレットも作成。

現在では6万匹とも10万匹ともいわれるほど“ホタルだらけの川”が実現できたのは児童との協働が大きな成果を生み、学校での活動の発表会を見てビックリするやら感動するやらで、子どもたちからパワーを貰ったと喜んでおられました。こんな活動が可部でも展開するといいな。

決して生半可な活動ではないと思われます、チリも積もれば…ですよね。

高松山の植生に 看板を

昨年6月、可部中の生徒諸君と高松山に登ったときのこと、高松山に生えている植物の説明にかなり苦心したけど、成果はいまいちでした。そこで登山ルートに植物の解説板を取り付けたらと考えるに至りました。

解説板には植生の名前だけでなく、特徴なども書いてあります。関心のある人は一緒に参加しませんか。取り付けながら高松山に登るのも楽しいですよ。

実施日 3月27日(木)9時30分、集合場所 可部高校アーチェリー練習場。
参加希望者は3月24日までに梶川さん(Tel・Fax 812-2750)までどうぞ。



復元の会で チョロQを貰おう

2月9日、可部の明神公園は賑やかでした。“レトロバス復元前年祭”横川・可部で同時開催したイベントのことです。これをきっかけに今、横川地域がすごい盛り上がりを見せています。レトロバス復元の実現に向けて「復元の会賛助会員」の入会呼びかけに全力投球で、既に相当の成果をあげている模様。

可部も負けてはおられません。ライオンズクラブのメンバーからも“男のロマン”を実現させるんだと入会の申込みを戴いています。入会金は1口3千円で入会するとレトロバスのチョコQが貰えるんです。入会の申込みは「可部カラスの会」でも受け付けています。可部カラスの会員はもちろん、どなたでも入会大歓迎。

カラスのスケジュール

カラスの定例会

3月 26日(水)
4月 9日(水) 23日(水)

カラスのイベント等

3月27日(木) 大竹市幸齢者大学
生涯学習とまちづくり
3月27日(木) 予備日 28日(金)
高松山の植生解説板取付け
9時30分 可部高校アーチェリー練習場集合

受付 加納 可部南3-15-9 Tel (814-7878)
和田木 可部3-13-3 Tel (814-2488)



レトロバス 短信

横川ふしぎ市 4月20日(日)
明治の衣装をまとったパレード 開催

バスのエンジンはガソリン方式に決定。
近日中に製作を開始

可部カラスの会

第 63 号 2003.4.15

事務局 安佐北区可部五丁目 7-16

Tel(Fax)815-1833(新澤)

kabekarasu@ma8.seikyou.ne.jp(田中)

<http://ha8.seikyou.ne.jp/home/kabekrasu/>

今年も一緒に賑やかに 高松山の 大文字まつり

今年もやります高松山“大文字まつり”のカラスの定番イベント。レトロバス復元運動、高松山の植生の説明、そして“可部再発見ビデオ制作”一般公募と今年のイベントは盛り沢山です。



植生の写真や登山のご案内

まずは高松山植生の説明板取り付けのお話から。動機は昨年6月、可部中2年生の高松山登山。山頂での説明で声が届かず

苦労したので、分かりやすい方法を思いついたのが今回の説明板取り付けでした。会場では高松山に生えている植物の写真の説明や、別途に登山の計画などを案内する予定です。

賛助会員にどうぞ

続いて皆さんお馴染み“レトロバス復元”の企画です。横川での取組みは現在バスのボディの組み立て段階に入ったところです。可部では来年の本番に向けて、皆さんにも賛助会員として参加ご協力をお

願いたいと考えています。先日のライオンズクラブの定例会では「大人のロマンじゃ」と多くの皆さんから賛同していただきました。皆さんも復元会員になって賑やかに盛り上がりましょうや。

“きらめきの瞬間”を聞いてみませんか

たまやってくれました。可部の応援歌「可部のカラス」が交響詩風に編曲されたんです。題して“きらめきの瞬間”、朝日に映えてきらきら輝く水面にカラスのメロディが静かに湧き出るイメージです。仕掛け

人は加納さんの甥で佐々木誠さん。勿論作曲編曲の専門家です。可部の応援歌をバックミュージックに“可部再発見”のビデオを一般公募することになり、会場にメロディを流しながら申込みの受付を行う予定です。皆さんも一度聞いてください。

定例会じゃあ こがあな話をしたんよ

3月26日(水)

大文字祭のイベントは地元の利益に繋がる地産地消で地元の名物鍋をつくるとよい新バイパス開通で旧道のあり方を考えるレトロバス復元の会会員を募集しよう共同作業所ウイングも参加してもらおう

可部の応援歌「きらめきの瞬間」完成

可部のカラスを交響詩風に編曲 大好評

「可部の再発見」ビデオを公募する予定

募集要綱 加納ほか6名で検討

太田川探検協会HPづくりに参加

積極的に投稿を

4月9日(水)

財政は健全 カラスの台所

皆さんの好意が感じられる

カラスの会報配布の扱い

会員・会員外いずれも従来どおり配布

会員名簿は継続参加を確認して印刷配布

安佐北中学校 11日竹下先生ら来訪

「広島を学ぶ」で旧道探索について

初の中高一貫コースで先生も張りきり

大文字祭 集会所の会場確保

① メインテーマ レトロバス復元

会員募集案内を積極的に

模型バス予約済み

② 高松山植生説明板について説明会

説明板とりつけについてスライドで

③ 可部の応援歌でビデオの募集

募集要項の検討と先行作業を了承

連絡先 可部南三丁目15の9 加納

高松山の植生に説明板をつけました

3月28日（金）可部高校グラウンド付近に集合したのは高松山登山道に沿って樹木や植物の説明板の取付け作業をするメンバーで、山の仲間や専門的な知識を持った人たちも応援にはせ参じてくれました。

早速入念なミーティング、内容は説明板の取付けに当たっての留意事項、特に植物の成長を妨げることを無ないように細かい配慮が随所に伺えました。

そして出発。鳥居をくぐって山道へ、そこで事前に取付けていた最初の説明板に出会いました。可部ルートは植生の種類も多いとか、登山愛好家が喜んでくれるといいですね。

「アブラチャンがきれいじゃったねえ。ちゃん言うけえ愛称のことか思うたら、それで植物の名前なんじゃねえ。ネジキの花も満開で、すごくきれいじゃった」とは参加した山口さんの感想でした。

作業を終えた梶川さんの反省点、「広い山で指示をするのにメガフォンがあったらなあ」。今度実施するときは、忘れずに用意しましょう。

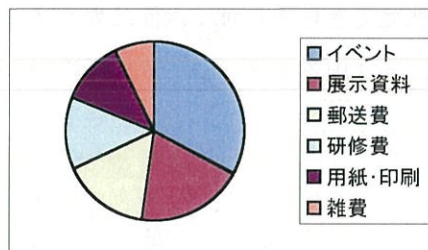
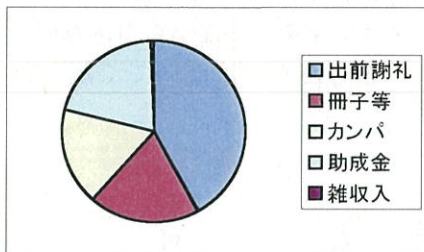


ありがたいことに カラスの財政は健全です

平成14年度の“カラスの財政”はカラスの濡れ羽色ほどの黒字です。若干コメントを加えると“とにかく忙しかった1年”でした。おかげでお金もついてきてくれました。特に感じたことは皆さんの暖かい気持ちを感じたこと、行事をやるたびに皆さんから多額のカンパをいただきました。

また冊子やCDを作成した時にも多大のご協力をいただきました。今年もいろいろがんばります。ご協力をお願いします。この1年、本当にありがとうございました。概略は次の通りです。

収入総額 746,100 円		支出総額 599,645 円	
出前謝礼 312,781 円	カンパ 130,826 円	用紙・印刷 70,107 円	展示資料作成 116,405 円
冊子等販売 145,750 円	助成金 151,739 円	イベント 196,521 円	郵送費 95,380 円
雑収入 5,004 円		研修費 78,483 円	雑費 42,749 円



カラスのスケジュール

カラスの定例会

4月 23日（水）
5月14日（水） 28日（水）

カラスのイベント等

5月24～25日 大文字祭
可部学区集会所 時間設定は別途
5月27日（火）10:30～ 亀山中1年生
柳瀬で「舟運について とっかかり部分」の
講座指導



レトロバス 短信

横川

三滝基地で車体の製作に本腰をいれたTシャツのデザイン決定、募金箱もふしぎ市（4月20日）

模型バスパレードと募金の樽も登場

可部

5月24（土）～25日（日）大文字祭
模型バス登場
賛助会員の募集も行う予定

高松山の植物は面白い 今年の大文字イベント

今、可部カラスは熱く燃えています。カラスの恒例、大文字祭にあわせたイベントの準備です。

まずは“高松山の植物は種類が豊富で面白い”から紹介しましょう。

「…早春にはアブラチャンが谷を覆うように、枝を伸ばして、沢山の小さな黄色い花を誇り、辺りに匂いを放ちます。4月には赤い花を咲かせたヤブツバキや……(高松山自然観察から)」季節の移り変わりに応じて花を咲かせる植物の様子をやさしい文章で紹介し、詳しい説明や、植物が生えた位置のマップまで載せた、高松山の自然をテンコ盛りにした解説書ができました。

執筆者は五日市在住で森林生態調査研究所所属の山下容富子さん、もちろん可部カラスのメンバーです。

登山道(可部ルート・土居ルート)に沿って取り付けた植物の説明板は63号でお知らせしましたが、読むだけでも楽しく、登るときにも便利で役立つ解説冊子を作成中です。手にしながら登山をどうぞ。

なお、可部学区集会所で、両日とも午前11時及び午後2時から約1時間の予定で説明会を開催します。こんな楽しさいっぱいの高松山に登ってみませんか。

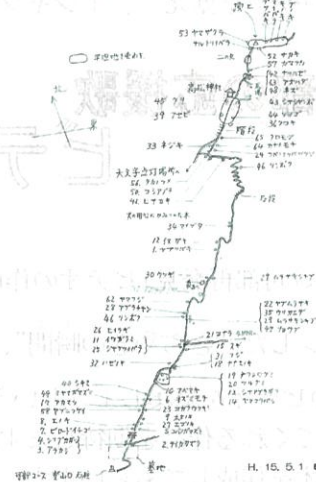
日程	集合時間	集合場所	募集人数	参加費
6月1日(一般向き)	8:30	可部高校グラウンド	20名	100円
6月8日(健脚向き)	8:30	下町屋の福留ハム	20名	100円

参加希望の方はハガキまたは電話で下記へどうぞ。

梶川 暢之 可部二丁目39-30 Tel(082)812-2750
 新澤 孝重 可部六丁目7-16 Tel(082)815-1833

高松山植生マップ(可部コース)

※可部コースは緑道



可部コースの植生マップ

定例会じゃあ こがあな話をしたんよ

4月23日(水) 参加者 8名

日本建築士会連合会からの依頼
会誌(7月号)に「可部カラスの会」

の記事を掲載したいと連絡あり。

今年度のまちづくり月間賞について

高松山魅力開発の補助事業について

大文字祭のイベント

クリーン根の谷川実施期日確定の調査

遠原 他

亀山中一年生出前授業

柳瀬で「舟運について」新澤ほか

5月14日(水) 参加者 12名

大文字祭準備

チラシ7千5百枚印刷 ほぼ配布了

高松山責任者 梶川

レトロバス責任者 新澤

ビデオ責任者 加納

器具用意

照明・設営 パネル、

受付、スポット、屋台

受付、プロジェクト

バス模型借受け 23日・返納 26日

会場設営

24日 8時設営開始

25日 5時撤去開始

設営要員

23日 4名

24日 12名

25日 11名

26日 4名

バスの模型もやってくるよ

続いて2月9日、レトロバス前年祭で明神広場にもお目見えしたバスもやってきます。このバス、4月20日、横川では恒例の“不思議市”が開催されましたが、そこでも募金樽と共に訪れた人たちの注目を集めました。



レトロバスと募金樽

横川の皆さんの“レトロバス”に懸ける思い入れは、アメリカ製エンジンに日本式乗合馬車のボディを乗せた重量1トンの日本最初のバスを作った明治のロマン再現に向かって進む勢いに、すごいものを感じます。

そこでカラスも100年前に可部～横川を走らせた明治の男たちの夢を追いかけて、可部でもにぎやかな活動をやりたいと思います。

バスの模型を据えて、Tシャツの販売や賛助会員（1口 3,000円）の募集も行います。

可部の応援歌

ビデオを作ろうやあ

可部の再発見

最後は「可部再発見」ビデオの作成です。ご存知、会員西本範男ファミリーの「可部のカラス」を交響曲風にアレンジした“きらめきの瞬間”、若者の唄“街”など5曲の音楽をバックミュージックに使用して、「可部再発見」のビデオを募集しようという企画です。テーマは可部地域の風景、風物をビデオで撮って、可部に元気を与えてくれる作品を期待します。今回の会場で説明会を開いて、希望者に二千元でCDを提供、7分以内のビデオを作成してもらいます。1年後に応募された全作品を公開してその中から最優秀作品を1点、優秀作品数点を選び、可部のPRに役立てたいと考えています。

この件に関する問合せは、

加納 昭男 安佐北区可部南三丁目15-8 Tel 082(814)7878 FAX 082(814)8161

西本 範男 安佐北区可部三丁目14-12 Tel 082(814)7565

和田木 薫 安佐北区可部三丁目13-3 Tel 082(814)2488

なお、「可部のカラス」CDに関する問合せも、上記へお願いします。

レトロバスクッキーで参加 ウイング

共同作業所ウイングの皆さんもレトロバスのクッキーとコーヒーで参加します。

みんなで楽しく賑やかにやりましょうや

カラスのスケジュール

カラスの定例会

5月 28日(水)

6月 11日(水) 25日(水)

カラスのイベント等

5月27日(火) 亀山中 出前授業 1年生
10:30～ 柳瀬 「舟運」について
新澤 他

6月 1日(日) 高松山の植物案内(一般向き)
8:30 可部高校グラウンド集合

6月 8日(日) 高松山の植物案内(健脚向き)
8:30 下町屋福留ハム集合

大文字保存会の皆さん

感動を ありがとう

可部カラスの会々員 遠原 稔

5月5日、快晴の青空に誘われ、植生解説板の取り付けられた高松山へ出かけ、大きな感動を二ついただいた。

まずは植生解説板について、約百枚の解説板はやさしい解説で登山者を楽しませてくれ、高松山が一層魅力的なものになったこと。

そして下山時には“大文字保存会”の方々による登山道清掃のご苦勞に接したこと。

大文字まつりの参拝者の安全を願って、登山道の落ち葉を掃き清める十数名の清掃奉仕者には頭を下げずにはいられなかった。

これからは、近くの登山愛好者にもお手伝いの声をかけて頂ければ…と感じた次第である。

可部カラスの会

第65号 2003.6.15

事務局 安佐北区可部五丁目7-16

Tel(Fax)815-1833(新澤)

kabekarasu@ma8.seikyuu.ne.jp(田中)

<http://ha8.seikyuu.ne.jp/home/kabekarasu/>

活動の目的をめぐる白熱の論議

大文字祭の1日目

5月24日午後8時半、大文字祭の1日目が終わって、「反省会」の冒頭で「カラスの活動の目的は一体なんじゃと思う？」友広代表の質問に、宴の会場はいきなり白熱の論議の場になりました。

酒を楽しむ余裕もどこへやら…、みんな真剣な顔つきで討議に加わります。「町の人には“カラスはええことをやってくれる”と言われるが、ええことだけで動くとは何でも屋になるんじゃないか」、「学校の先生は、出前授業にどんな評価をして呉れとるんじゃないか」、「今の会報は、やったことは書いてあるが、主張がない。」などなど意見続出。時計の針はどんどん進みますが、論議に終息の気配は何えません。

それでも一応、中間のまとめとして《可部に誇りを持って住むことができるような町を、地域の人と共に作る》を目的とすることにしました。

さらに皆さんの思いを集約して、もっと適切なものにしたいと考えます。ご意見を寄せてください。

瀬戸内まできれいに見えて…

6/1日 高松山登山に21名が参加

6月1日、高松山登山一般コースに参加しました。カラスの会のメンバーを含む総勢21名、それにケーブルテレビの取材班も参加しました。

メンバーの最高齢は84歳の平尾さん。昨日心配された台風も皆さんの元気に遠慮した模様で、絶好の天気にも恵まれ空気も澄みきっていたので視界もすばらしく、基町のクレドはもちろん遠く瀬戸の海まで見られて皆さん感動しておられました。

花もいろいろ咲いていましたが、ピロードイチゴが赤く実っていたので、ひとつとって味わいました。大文字の点灯場所を見て、みんな無事に下山しました。(山口記)



参加者に説明する山下さん

定例会じゃあ こがあな話をしたんよ

5月28日(水) 参加者8名

大文字祭の反省

初日に論議された「可部の人が誇りを持つて住めるような町づくり」を目指して仮集約しておき、多くの意見を求める「この木なんの木？」

今回は裾野の広がりを感じられる

二百部程度印刷(五百円)、

冊子作成の日を決めて全員で取組む。

亀山中出前授業(5月27日)

講師 新澤・田中 対応

友鉄能舞台?のお披露目

6月15日11時 参加自由

6月11日(水) 参加者12名

高松山植生冊子「この木なんの木」大好評

300部印刷予定は既に240部を消化

登山者は80名を突破

植物解説冊子作成スタッフ健闘

国土交通大臣表彰式 6月25日(水)

参加希望者を早急に調査

可部の町活性化に繋がれとの気ははやる

次回定例会と重複のため休止予定

安佐北中「可部の町学習」(6月8日)

梶川さんが説明

可部旧道沿いの町並み保存対策

旧道沿いの町並み保存の意向は強い。

進行中の関連部門打ち合せに心が沸く

ワークショップ等で雰囲気づくりを

カラスの活動目的をめぐる論議

24日の論議を深める予定も、時間切れで次回持ち越し

冊子担当はテンテコ舞いの忙しさ

〔この木なんの木？ 作成で〕

5月27日、事務局新澤邸の朝はけたたましい電話の呼出し音で明けました。当日の新聞に“可部カラスの会が冊子”の記事を見た読者が一斉に申込んで来られたんです。朝食の時間もどこへやら。受け付け、事務局の場所案内、訪問者の対応などに追われて奥さんは電話の傍を離れるわけにもゆきません。高松山への道のり、トイレの有無まで案内する状態が2日に亘って続き、申込み数は予定を大きく上回る115部でした。

次いで冊子印刷担当の和田木さん、新沢さんから「こっちは電話対応で印刷が手につかんけえ、両面印刷の部分はあんた方でやってやあ」の依頼に「よっしゃ、そいじゃあたちまち50部くらいくらい印刷しといて、後は適当なときにやろう。」軽い気持ちで要請に応じたものの、22ページの印刷に20分かかるし、インクの消耗はすごく早いときたもんで…、一日のできあがりか30冊くらいでした。

最後の40冊分を新澤邸へ届けたのは6月7日だったように記憶しています。

幅広い応援メッセージに感動

1回目の郵送を済ませたのが6月2日、今度は賛辞の返信と電話が続々と届きます。しかも我々が予想もしなかったジャンルの方たち（日本ナショナルトラスト協会、可部在住の樹木医、日本自然保護協会、日本鳥類保護連盟、広島県森林インストラクターの各メンバーほか）から暖かいメッセージが寄せられ、すごい感動を覚えました。

寄せられた手紙の中から応援メッセージを紹介しましょう（原文のまま）

- ・ 最近山歩きに興味を持ち始めました。山の樹々や草花について少し知りたいと思っていた所中国新聞で冊子の記事を読み是非その本を片手に上ってみたいと思いました。
- ・ 高松山が一層みじかに感じられます。
- ・ いつか高松山での勉強会をもっていただければと思っています。貴会の活躍を祈っています。
- ・ この資料を持って高松山に又登って見たいと思います。ボランティア活動、頭が下がる思いがいたします。これからもますますのご活躍をお祈りいたしております。
- ・ 12年間ベッド生活を余儀なくされている義母の介護、近場の山歩きに心癒されます。時間の取れる時、樹木を楽しみ乍ら登って参ります。
- ・ 元気に成ったら高松山に登ってみたいと思います。
- ・ 高松山だけでなく、可部の町並みもじっくり見て歩きたいと願っています。
- ・ 未だ高松山に登った事がなく、私の趣味として、山城と植物観察に興味を持っていますので是非登ってみたいと思っています。

国土交通大臣の表彰です

このたび国土交通省から表彰されることが決まりました。あまりにも唐突な知らせにただただ驚くばかりです。

表彰の理由は次のように集約されています。

“地域住民主体の自主的まちづくり活動のモデルとして、広島県のみならず、近隣県の市町村からも注目され始めている。このグループの活動に対する地域住民の信頼・期待が大きく、地域の誇りにもなりつつある”

表彰式は6月25日東京で行われます。

これも皆様のご理解とご協力の賜物です。この榮譽におごることなく、皆様と一緒にもっとがんばります。本当にありがとうございました。

カラスのスケジュール等

カラスの定例会

7月9日（水） 23日（水）

6月25日は《国土交通大臣賞受賞式》参列のため臨時休会とします。

カラスのイベント等

7月26日（土）12:30～RCC ラジオ『山野秀子の小さなパティオ』のなかで可部カラスの会を取材・紹介

可部カラスの会

第66号 2003.7.15

事務局 安佐北区可部五丁目 7-16

Tel(Fax)815-1833(新澤)

kabekarasu@ma8.seikyoku.ne.jp(田中)

<http://ha8.seikyoku.ne.jp/home/kabekarasu/>

このよろこびを皆さんと共に

このよろこびを皆さんと共に

国土交通大臣の表彰を受けて

住民一人一人が生きること喜びと生きがいを味わえる生活空間をつくっていくためには、住民の積極的な参画のもとに創意と工夫を生かしたまちづくりを推進することが必要です。このため国土交通大臣が、毎年6月の「まちづくり月間」において、魅力あるまちづくりの推進につとめ、特に著しい功績のあった個人又は団体を表彰するという制度がありました。広島市から推薦をいただいて、全国で表彰を受けた54団体・個人の中に「可部カラスの会」も選ばれてこのほど表彰をいただきました。



国土大臣から表彰を戴く緊張の瞬間

特別の意義を感じた カラスの活動

6月25日、東京の日本都市センター会館コスモスホールで表彰式があり、可部カラスの会代表友広大造の他カラスのメンバー7名とカラスの会前事務局長で東京転勤のためカラスの会東京支局長を任じている寺本さんも加わって式場に参列しました。被表彰団体の多くは〇〇土地区画整理組合または再開発組合で、数百億円の事業費で駅前広場の拡充整備をした、歩行者専用道路を設置した、道路用地を確保して商店街をメインストリートとして蘇らしたといった功績内容の中にあって、可部カラスの会の活動は著しく異色に思いました。まちづくりには人間の生活すべてが丸ごと関わります。可部の皆さんと共に力をあわせて“可部の町に住んでいることを誇りにおもう”ようなまちにしたいとこれからも頑張りたいと思います。



記念のブロンズ

定例会じゃあ こがあな話をしたんよ

6月25日(水)

国土交通大臣表彰式参列のため主要メンバー不在につき休会

7月8日(水)

「川の通信簿」記入の説明

太田川河川事務所の依頼

寺山歩道橋く文教女子大付近

カラスで川の親しみやすさをチェック

太田川たんけん協会会議

世界こども水フォーラム

10月11～13日 加計町で開催

NHK「お好みワイド」街道夢紀行に協力

和田木が出演、国交大臣表彰も紹介

まちづくり国交大臣表彰

友広代表他7名出席

NHK文化教室「かえで俳句会」6名を可部の町案内

新澤(慶)が案内

亀山小4年生「川の学習」(7月8日)

江角、田中、新澤(慶)、谷口(太田川漁協)で実施

カラスの活動PR用冊子の作成

多岐な活動が分かりやすい冊子にする

チンチロピッツ(7月19日) 18時～22時

笹木医院前 カラス、ウイング、カブト虫

憩いの場と情報提供の場に

可部中総合的学習(8月4日)

内容をもっと具体的に詰める

国交省中国整備局研修(9月5日)

事前打ち合わせあり

可部駅西口の面を描こう

明日に繋がる構想を描こう

今年は静かに可部を見よう チンチロビッツ

ウイングや虫たちと 笹木の広場で

7月19日は明神さんのチンチロビッツです。カラスは今年もお祭りに参加します。場所は笹木医院の前庭で、共同作業所ウイング、カブトムシ販売グループと一緒にです。

1. ゆっくりとくつろぐことのできる場所の提供

“高齢者に優しく”の観点から腰をかけて、冷たいお茶を飲みながら歓談できる、オアシスの雰囲気になりたいと思います。スクリーンでは、新しい可部のスポットをスライドショーで。バックには“きらめきの瞬間”が流れます。

2. 古い可部の街を思い出させる写真の提供

かつて繁盛した旧五丁目を中心の写真を飾ります。昭和初期の可部の町並みの地図も掲示します。

3. 誰でも入場できる雰囲気の提供

そぞろ歩きの皆さんが入り易いように入口で呼びかけます。楽しい一時をカラスのパティオでどうぞ。

アユ釣りの実技に目が点 亀山小の出前授業で



7月8日(木)は亀山小学校4年生約110名を対象の出前授業の日です。担当は江角、新澤(慶)、田中の3名に強力な助っ人、太田川漁協の谷口さんです。大毛寺川が工事中のため、当日は川に入ることを断念。まずは雰囲気づくりに谷口さんの“アユの友釣り”の実演が子どもたちに受けました。次に新沢さんが川の冊子『水が無くては生きては行けない』を朗読しました。田中さんは、水と共に生活する上でなくてはならない“火”と“太田川の水運”の話をしました。

そして当日のテーマ「川」について、児童から寄せられた質問は

- ・ 川の生物ホタルはどんなところに住むのか、どうやったら戻ってくるのか。
- ・ 太田川や大毛寺川にはどんな生き物がいるのか。
- ・ 改修工事をするるとどんな影響がでるのか、魚道があるのか。
- ・ 川をきれいにするのに、私たちにできることはないのか。

このうち魚のことは主として谷口さんに、その他のことは江角さんが答えました。魚を捕る方法では「手掴み」が特に感動があるので、やってみてほしい。

とにかく体験することが大切で、この夏休みには是非川に入ってみてください。」と訴えました。

このたびの出前授業は、江角さんにとって初めての体験で、「自分にとっても大変勉強になりました」と語っていました。

“川の通信簿”の採点を

川と親しむ空間を魅力的なものにするために、太田川河川事務所から“点検シート”を使って根の谷川(寺山歩道橋～文教女子大の兩岸)の通信簿に採点記入してほしい旨の依頼を受けました。

用紙はカラスの事務局にあり、8月10日までに記入の上返送(用紙・封筒あり)。希望者は新澤・和田木までどうぞ。

カラスのスケジュール

カラスの定例会

7月 23日(水)
8月13日(水) 27日(水)

カラスのイベント等

7月19日(土) チンチロビッツ
18:30～23:00 笹木医院前広場
カラス、ウイング、昆虫

7月26日 RCCラジオ
0:00～「山野秀子の小さなパティオ」
可部カラスの活動紹介

8月4日(月) 可部中 総合学習(インタビュー)
10:00～ 8グループを対象

可部カラスの会

第 67 号 2003.8.15

事務局 安佐北区可部五丁目 7-16

Tel(Fax)815-1833(新澤)

kabekarasu@ma8.seikyou.ne.jp(田中)

<http://ha8.seikyou.ne.jp/home/kabekarasu/>

静かに映像と写真を楽しんで

チンチロビッツ カラスのイベント

今回の“チンチロビッツ”は静かにお客さんをお迎えすることがテーマです。心配された前日の雨もあがった7月19日午後2時を廻った頃から、会場設営のメンバーの顔が三々五々集まります。

トラックから道具も下ろされ、設営の開始。長椅子に緋毛氈をあしらい、かがり火の用意もでき、ビデオの設定もOKです。

今年笹木広場の会場を使用する共同作業所ウイング、カブトムシの店も準備に余念がありません。ひととおり会場の準備ができたところで乾杯。

時計が午後6時を廻って、旧道が歩行者天国になる頃からお客さんの数も徐々に増えてきます。カラスの緋毛氈に腰をかける人もちらほら…。

今年は若い女性の浴衣姿が目につく中に、ビデオをみていた少女たちの眼が急に輝いて「うわあ！私らが映っとるよ。」と大歓声、1昨年可部小



の「卒業を祝う会」で可部の民謡を歌った女子7名の姿でした。

気がつくと休憩所の椅子はほぼ満員の状況で、「よお、

久しぶり、元気じゃった？」の声も交わされます。

また、写真をじっくりと見て行く家族連れの様も見うけられました。説明の担当も力が入ります。以前出前授業で「根の谷川」の話聞いてから関心を持ってきた子どもや写真と地図を関連付けての説明に「聞いてわかった可部の素晴らしさ」と歓んでくださる家族の声も聞かれました。

ウイング カブトムシ も頑張っ…



に直結している様子で、孫のおねだりに財布の紐が緩むおじいちゃん、おばあちゃん姿を垣間見ることができました。

椅子でくつろぐ人たちは、終了予定の時刻を過ぎても立ち去りがたい様子で、カラスの企画は成功したようです。

用具を片付けて帰途についたのは日付変更線を越えてからでした。

今年で2回目、共同で店を開いた“共同作業所ウイング”は家族会の応援を得て、元気のいい呼びかけでコーヒー、クッキーの売れ行きは順調のようです。

また“カブトムシ”のコーナーをみると、おそろおそろカブトムシを覗きこむ子どもの姿が…。一時のブームは過ぎたものの依然として昆虫への興味は売上

定例会で話したこと

結果的に8月は全休	ひふみ会館で19時から	8月27日(水)	国土交通大臣賞受賞祝賀会	小会議室を確保	対応可能な講師の参加を待つ	老人集会所と福祉センター	カラスの参加者 10名	1年生6グループ 31名	可部中出前授業 8月4日	代表、事務局長、女性部参加	7月23日(水) 参加者5名
-----------	-------------	----------	--------------	---------	---------------	--------------	-------------	--------------	--------------	---------------	----------------

可部線存続を考える会の取組み協力要請

内容は紙面で紹介

可部中出前授業 8月4日

テーマ 可部の地域を学ぶ

カラスの参加者 10名

老人集会所と福祉センター

小会議室を確保

対応可能な講師の参加を待つ

国土交通大臣賞受賞祝賀会

8月27日(水)

ひふみ会館で19時から

定例会はお休み

結果的に8月は全休

生徒と共に学んだ可部の町

可部中1年生の出前授業

8月4日(月)は可部中1年生対象の出前授業の日、10時前になると集合場所の“老人集会所”には生徒たちが顔を見せ始めました。インタビューは6グループ31名、講師を務めるカラスは10名です。

事前に提供された質問を大きく分けると・高松山に関するもの・昔の可部の様子・レトロバスについてなどでした。生徒たちとカラスの挨拶に始まった訪問学習、組分けは“高松山”と“昔の可部”で学習開始です。



まずは「高松山」のグループですが、3チームの皆さんがこのテーマを選び、調査項目もほぼ同じ内容なので、纏めて説明しました。

高松山に住む動物は熊を除きたいの動物がいること、珍しい植物は特にはないが、高い木としてハウノキを紹介しました。墓地の多いことは、可部は昔から水の被害に遭うため高い場所に立てたと思われる。石が多いという質問には、小石は雨水に流されて大きいものが残った。最後に友近さんが「可部と京都の類似点」を説明して訪問学習を締めくくりました。

一方「昔の可部」グループは少人数で、アットホームな雰囲気勉強の開始です。最初の質問は可部の名前の由来について、漢弁郷を紹介の上いろいろと話を進めましたが、説明する上で躊躇したのは、“昔”の概念でした。そこで年代を限定しながら時代を追って説明しました。

この流れに乗って昔の建物・戦前の大きな建物・産業・可部のエリアなどについて話を続けましたが、ここで役に立ったのは堀岡さん提供(明治30年代)の写真。可部の町が一望できるので、生徒たちも前に集まり、しっかり見つめていました。



続いて川舟とレトロバスに移りましたが、この頃になると生徒たちもリラックスして大きな声で対話できるようになってきました。

いささか大雑把な説明で、時間も不足ですべての質問に満足はできなかつたが、生徒たちは我々の話をきちんと受け止めてくれたように感じました。

これからも 粘り強い活動を 可部線の再生と存続

7月23日の定例会に「可部線の存続を考える会」から3名の方が今後の活動に対する協力の要請にいられました。訴えの要旨はおよそ次のとおりです。

- ・ 11月末日に廃止届が出されても、存続運動は終らない。ここを出発点と位置付けて鉄道復活・再生にむけて活動を続ける。
- ・ そのためには下流地域の皆さんの全面的な支援を御願います。具体的には署名活動の展開を期待する。

これを受けてカラスとしての取組みを検討することとし、別途皆さんと相談したいと考えています。

カラスのスケジュール

カラスの定例会

9月 10日(水) 24日(水)

カラスのイベント等

9月28日(日)

クリーン根の谷川 8:30~10:00

事前のチラシ配布依頼の予定

今年もやろう クリーン根の谷川

今年もやりましょう“クリーン根の谷川”。9月28日(日)午前8時半~10時、例年どおり南原川合流点~上原橋の清掃です。今年も学校などに呼びかけをして、楽しくやりましょう。チラシの配布のご協力をお願いします。

可部カラスの会

第 68 号 2003.9.15

事務局 安佐北区可部五丁目 7-16

Tel(Fax)815-1833(新澤)

kabekarasu@ma8.seikyoku.ne.jp(田中)

<http://ha8.seikyoku.ne.jp/home/kabekarasu/>

可部南学区公衛協も加わって

範囲を拡大 クリーン根の谷川

今年の「クリーン根の谷川」は9月28日に実施します。今年は新しく可部南学区公衛協も主旨に賛同して共催団体として加わることになり、清掃範囲も可部高校～上原橋～新川橋と広がりました。

集合時間午前8時、集合場所は可部高校グラウンド

南と上原橋東詰の2箇所です。作業に当たっては帽子、長袖シャツの日除け対策と、動きやすい服装で集合してください。なお万一に備えて1日保険はカラスの方で用意します。また清掃終了後、解散場所で冷たい飲み物も用意します。

カラスの活動に関心 地域の皆さん

今回も「クリーン根の谷川」のチラシ配布方のお願いに各町内会を訪ねましたが、快く引き受けていただくことができました。生憎留守でポストに入れた場合でも、わざわざ電話をいただくケースもありました。光善坊の3町内会を訪ねたときは、「地区の会合があつて、出席率が悪いかも知れんが…」との言葉を頂きました。ありがたいことです。

中・高校は学校行事の都合で参加がむづかしいと

ころもあるようですが、クリーン根の谷川は毎年の

行事、皆さんに関心を持って貰って、明日に繋がれば結構です。



昨年の清掃活動から

チョイト うれしいはなし

9月7日(日)高松山に登った二人の女性から事務局宛に「可部で出会った人はみんな親切だった」と感謝のメールが入りました。高松山登山口まで親切に案内してくれた人、高松山の上で出会った人、帰りに可部駅近くで気軽に話しかけてくれた人。これらの3人は偶然に、みなカラスの会員だったと後で判明。

定例会じゃあ こがあな話をしたんよ

9月10日(水) 参加者10名
実施事項

国土交通省「まちづくり行政研修会」

9月8日「住民によるまちおこし」新澤

レトロバスの会全国バスまつり参加断念

参加不許可の連絡あり

「広島県の山」に高松山の記事を掲載予定

「山と溪谷社」が住民の熱意を感じて

協議事項

秋の高松山樹木観察会

9月20日(土) 応募締め切り

10月5日(日) 余裕あり

クリーン根の谷川 9月28日(日)

可部南学区公衛協も共催

集合場所 可部高校グラウンド・上原橋東

ゴミ集積場所 当日指示

安佐北環境事業所への連絡は別途

役割分担

一日傷害保険申込 友広

開催挨拶 友広・和田木

ジュース等用意 和田木

広島バスまつり 9月14日(日)

広島運輸支局 観音新2・7:50

共同作業所ウイング レトロバスクッキ

ーで参加

可部公民館まつり 11月1〜2日

テーマ 可部の写真と高松山の植生

出前講座 10月1日(水)

第一東亜ハイツ老人会

「可部の町の歴史を学ぶ」

複数回の講座を望む意向

地域との交流願いを希求する 共同作業所 ウイングを訪ねて

今回は“レトロバスのクッキー”で人気上昇中の「共同作業所ウイング」を訪ねてみました。新バイパス可部陸橋南側に近い可部一丁目の作業場、戸を開けると明るい雰囲気の中で 10 人ばかりの皆さんが、熱心に下請作業を続けています。迎えに出てくれた三島さんに話を伺いました。

「平成 3(1991)年発足当時は可部三丁目でした。当時は殆ど手弁当でがんばりました。11 年にここへ移転して、やっと作業ができる広さになったんです。そして一番うれしかったことは、地域の人たちが我々をすんなり受け入れてくださったこと。そして今では約 20 人の人がゆっくり働いています。」三島さんは続きます。



「広島市から助成金を受けながら社会復帰の作業所として、企業からの下請作業のほか自主製品としての木工製品があり、心の病をもつ人が一番望んでいる“地域の人との交流”を求めて、広島市では初めての試みとして喫茶店を併設した」とか。



2 階ではクッキー組がオリジナルクッキーの作成に余念がありません。冗談もちらほら出て、楽しそうな空気が漂います。可部カラスとの出会いは今年 2 月に開かれたレトロバスバス復元前年祭からです。皆さんの気持ちは前向きで、地域でのイベントへ積極的に参加する意気込みが見られ、その後カラスとウイングの付き合いは、五月の大文字まつり、チンチロビツ(明神まつり)などで、威勢のいいクッキー販売などの掛け声が聞かれ、我々も元気をもらいました。

全力をあげて取組み中

NPO 法人化を目指して

共同作業所ウイングは大きな展望を持って努力を重ねています。

- 1 心の病を持つ人たちの憩いの場、働く場として「喫茶ウイング」を地域住民の方々と自由で気軽に交流できる場として拡大発展させたい。
- 2 それぞれの利用者にあった仕事を幅広く用意して、みなさんが生き甲斐のある生活ができ、さらにより多くの社会貢献ができるようにしたい。
- 3 利用者が不安を抱えないように、住まい(グループホームなど)や食事を確保し、安定した生活を支えたい。

4・地域の一員として、誰もが暮らしやすいまちづくりに積極的に参加したい。

(NPO 法人ウイング設立趣意書 から)

この夢を実現するには今の無認可施設を法人化して運営基盤を固めることで、社会的信用を高める必要があります。

NPO 法人で運営できる小規模通所授産施設の設立には、運営の資金と、設備充実のための基金が必要です。

目的達成のため“NPO 法人ウイング設立発起人会”は資金援助の要請に東奔西走の毎日です。

問い合わせ先(事務局)

可部一丁目 7-23 共同作業所ウイング

三島 満里子 TEL 815-0405

カラスのスケジュール

カラスの定例会

9 月 24 日(水)

10 月 8 日(水) 22 日(水)

カラスのイベント等

クリーン根の谷川 9 月 28 日(日)

詳細は本誌面 参照

「可部の町の歴史を学ぶ」 10 月 1 日

第一東亜ハイツ老人会

秋の高松山樹木観察会(健脚向き)

10 月 5 日(日)

可部カラスの会

第 69 号 2003.10.15

事務局 安佐北区可部五丁目 7-16

Tel(Fax)815-1833(新澤)

kabekarasu@ma8.seikyuu.ne.jp(田中)

<http://ha8.seikyuu.ne.jp/home/kabekarasu/>

クリーン根の谷川に230名 可部南学区公衛協も

恒例の「根の谷川クリーンキャンペーン」ですが、今年には可部南学区公衛協（公衆衛生推進協議会）が参加しました。それに伴って清掃範囲も新川橋（スーパー野村付近）まで広がりました。

地域の皆さんはもちろん、可部高校運動部や可部中の諸君、さらに昨年に続いて参加のボーイスカウトなどなど、カラスの参加名簿に記帳された人数は 229 名にも及びました。

根の谷川をきれいな川に…の願いから集まった流

若者の力量地元から謝意 可部高校の諸君へ

作業は午前 8 時、高松橋南と上原橋で同時に開始です。作業内容は手馴れたもので、すいすいと進みます。その上 7 月にも「太田川クリーンキャンペーン」をやったおかげでごみの量は少なかったようです。そんな中で若者たちが持てる力をフルに発揮するシーンがありました。可部高校の上流にカラスのお勧め「花のゾーン」がありますが、このエリアを地域の人たちがもっと広げる努力をしています。川原に敷いてあった毛布やシートを運びだすのに高校生が力を発揮してくれ、瞬く間に土手まで引き上げ

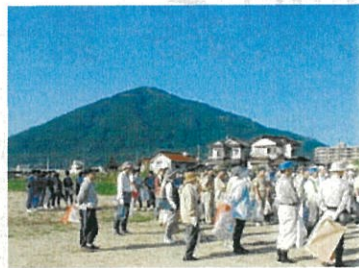
てくれ、地域のみなさんから感謝されました。

母の意志を継いで花畑の開発に力を注ぐ N さん、「若い人たちの力を借りて、気がかりだったことが一挙に解決してうれしかった。橋を渡る人が花を見て喜んでくれるし、空き缶やペットボトルを捨てる人もなくなった」と語ってくれました。

最後にジュースでのどを潤してお開き。カラスは道路に置かれた重いごみを集めて整理の後イベントを終了しました。



上原橋のセレモニー



高松橋に集合



集めたごみの分別

定例会じゃあ こがな話をしたんよ

9月25日(水) 参加者7名

報告事項

高松山の頂上にスズメバチの巣

RCCラジオイインタビューを梶川で収録

レトロバス来年3月28日 完成披露予定

可部まちづくり懇談会

・可部駅西口の暫定整備(11月30日完了)

・小型バス回転場整備計画の説明

・西口広場の本格整備(2~3年後)

二〇〇四年春までに地元の意見を集約したい

協議事項

出前講座ほか

・第一東亜ハイツ老人会

・世界子供水フォーラム 新澤

・太田川たんけんの旅 田中

・クリーン根の谷川 各担当が用意。

10月8日(水) 参加者9名

報告事項

クリーン根の谷川 参加者230名

認識の裾は広い、もっと広がりそう

第一東亜ハイツ出前講座 約25名参加

井手本・遠原・新澤・和田木

高松山登山 梶川・山下・ほか20名

みんな感激の模様

協議事項

三次市まちづくりセンターから講演依頼

公民館まつり 11月1日~2日 6階

高松山植生の解説・レトロバス関連資料

亀山五丁目内会 登山案内の依頼

根の谷川水質調査 11月16日(日)

今回から水質と水生生物を重点的に

ただいま 高松山に人気集中



可部コースから登頂

秋の高松山植物観察会は9月28日(一般向き・可部コース)および10月5日(健脚向き・土居コース)で実施されました。案内は

梶川さんと山下さん。両コースともに20名の定員一杯の人気です。定刻にミーティング、カラスの挨拶に続いてリーダーから登山に当たっての細かい注意を聞き、体をほぐしての出発。シーズンを迎えた樹木の様子を満喫して下山したようです。

体育の日には120人

また、カラスの企画以外に仲間を誘い合っ山を目指すグループもたくさん見かけるようになりました。

特に連休最後の13日には、なんと約120名の方が頂上に集結した光景を、友人と登った山下さんが目にして、昼食をとる場所も見つけるのに苦労されたとか…。

迷う人には声かけを

と同時に「高松山登山口」を探して歩きまわる人たちに会います。せっかく可部までやってきたけれど、登山道にたどり着くまでにエネルギーを費やしてしまっは申し訳ないような気がします。町の案内板がないのも一因でしょうか。

可部高校のあたりで「川を渡りたいのに橋がない」とおっしゃるかたによく出会います。そんなときには遠慮なく声をかけてみませんか。案内の途中で目にした根の谷川岸の「花のゾーン」に感動された人や、高松山以外のいろんところに関心を持っている人があるのに気がつきます。

そして可部での印象を楽しいものにしてほしいものですね。

昔の可部を語りました 第一東亜ハイツで

10月1日(水)、可部カラスは第一東亜ハイツ「ロマンス会」からの要請を受けて「昔の可部」について出前講座を行いました。

招かれたのは井手本さん、新澤さん、和田木さん。大型スクリーン



ンを使ってのビデオや写真で、明治末期から大正・昭和の可部の地形や交通、産業や人びとの暮らしを紹介。そのうえ井手本さんから、中世まで遡って三入・可部の発展と、寺山という名前の由来などの説明を受け、話す方も聞く方もほぼ同年輩とあって、さながら地域の老人大学講座の様相でした。

講座に参加された人は約25名、「可部に住みついて30年になるのに、昔のことは何にも知らなかった。なんで寺山と言うのか、高松山にお城があった往時を想像してみるのも楽しいことじゃねえ。」と、次回の出前講座に期待がかかっているようでした。参加したみなさんの気持ちは、1回で終わりたくないようで、カラスとしても続けて交流を続けたいと感じたひと時でした。

カラスのスケジュール

カラスの定例会

10月 22日(水)

11月 12日(水) 26日(水)

カラスのイベント等

10月28日(水) 名水百選「太田川たんけんの旅」

11月1~2日 可部公民館まつり

6階大会議室 高松山の植生の解説

レトロバス100年祭の紹介

11月4~12月7の間 三次市まちづくりセンター

講演会への講師派遣依頼

11月11日(水) 三入中 地域学習のまとめ

11月16日(日) 根の谷川の観察と水質調査

「春夏秋冬」グループの協力

可部カラスの会

第70号 2003.11.15

事務局 安佐北区可部五丁目 7-16

Tel(Fax)815-1833(新澤)

kabekarasu@ma8.seikyuu.ne.jp(田中)

<http://ha8.seikyuu.ne.jp/home/kabekarasu/>

好評だった高松山の解説 可部公民館まつりで

まずは前日の会場設営から、来場された皆さんが“ゆっくりくつろげる”ことをベースに椅子の位置をやや広めにとって和傘を立て、傍に緋毛氈の腰掛をしつらえました。これで高松山の案内も気楽に聞くことができます。

高松山のコーナーは入り口付近に山の模型と写真を飾り付け、レトロバスのコーナーは机にバス

の模型を配し、パネルには“復元の会”の活動状況報告のパネルと、“レトロバス物語”のパネルも貼り付けて作業は終了です。



情報を求める皆さんの声も

11月1日、第32回可部公民館祭の開幕です。高松山の模型と写真の対比で形を確認する人、模型をじっと見つめるる人に何うと、「いつか登って見たいので、コースを選定しとるところなんです」とか「今度山へ登る

計画があれば教えてもらえませんかねえ」という声もありました。

説明会はお客さんが集まれば開くという形で、講師はもちろん梶川さん。登山案内の映像を“パワーポイント”で編集、解説者との息もぴったり、残り少なかった「この木何の木」も完売です。

無料サービスのコーヒーを配る三木さんも大張り切り、みんな充実した動きに、快い疲れを感じた二日間でした。

本物のバスが見た～い

一方“レトロバス”の展示物を見て歩く人に活動の経緯をお話しすると、面白い話に納得顔。

「え！本物のバスが54号線を走って可部まで来るんですかあ。」「いやあ道路は法律上の問題があって公道を走られんと思いますが…」

「横川にやあ昔から面白いことを考える人がいっぱいおってんじゃねえ」

「そいで、バスはいつ可部まで来るんねえ」「来年が百年目になりますけえ、3月28日には賑やかに歓迎セレモニーをやりますけえ。」「よっしゃ。」

定例会じゃあ こがあな話をしたんよ

10月22日(水) 参加者 10名
報告事項

世界子供水フォーラムに新澤 講師で参加
太田川探検の旅 田中(加) 講師で参加
亀山五丁目文化部高松山登山 梶川が案内
広島今昔写真帖の編集協力要請あり

公民館まつり 11月2～3日

会場は昨年と同様6階

出し物 高松山 梶川さんが植生を案内
レトロバス 展示物を借りる

反省会 1日 ひふみ会館で実施

根の谷川水質調査 11月16日(日)

集合 可部高校南 出発 上原橋から

芋煮会 集合場所と同じ

11月12日(水) 参加者名 6名

報告事項

世界名水100選 講師に田中(加) 派遣

三入中1年地域学習 井出本、梶川、友近

三次まちづくりセンターで講演。友広、新澤

15年度太田川サミット 新澤参加

討議事項

安佐北区「元気なまちづくり情報誌」にカラ

スの参加要請あり 和田木参加

レトロバス100年イベント 3月28日

可部の旧道に「歩行者天国を」

可部駅西口バス停構想にワークシヨップ

根の谷川水質調査に可部小4年生が参加

むすび、ジュースを用意

16年度建設弘済会に補助金を要請予定

今年の反省会 12月18日午後7時から

可部小も加わって 大賑わいの水質調査

今年の根の谷川水質調査は可部小学校の児童たちにも大勢参加してもらいました。昨年までは”とにかく賑やかにやろう”というのがカラスの考え方でしたが、今年は子どもたちに”水の大切さ”を理解してもらおう趣向で、水質調査に詳しい水援隊《春夏秋冬》の山田英男・清子夫妻に参加指導をお願いしたところ「子どもたちのお役に立つのなら…」と全面的に賛同され、おまけに子どもたちへの参考資料まで手配して準備していただきました。



先生の説明を聞いて

実施日は11月16日(日)午前8時に可部高校グランド南へ集合です。すっきりしなかったお天気もカラスに味方、まばゆい光の中カラスも児童も集まってきました。

まずはメンバーの紹介から。先述の山田夫妻に可部小船原先生率いる4年生17名と保護者3名、特別参加は可部公民館”根の谷川探検隊リーダー”をつとめる文教女子大の竹下貴江さん、カラスの会員が13名と多彩な顔ぶれとなりました。

作業開始に先だつてあいさつ、講師の山田ご夫妻の紹介、作業に当たっての注意事項を説明しましたが、子どもたちの表情は真剣そのものに見えました。保護者を含んで子どもたちが調査するのは上流班(南原川合流点～高松橋)です。山田夫妻も子どもたちに是非見せたい水生生物の種類が多い上流班に加わりました。

生物や景色に満足・実験に驚き



汚れの進行を実験中

下流班5名のカラスの調査は淡々と進みます。上原橋の袂で自転車に乗った人から声をかけられました。「カラスさん、今日は水質調査でがんばってんですね。先日お世話になった東亜ハイツの…」そうです、第一東亜ハイツの出前講座に参加された方からのエールでした。

一方、上流組に加わった子どもたちははじめての体験に感動の連続です。今まで何の気なしに眺めていた川の中

にたくさんの魚が泳いでいたり、サワガニやカメを見つけて大騒ぎ。川底の石をひっくり返して見るとカワニナが…。

朝の集合場所での実験は水の汚れでした。山田先生が用意して持ってきた”自分たちが毎日何気なく使って捨てている生活廃水”で水槽の水の汚れがどんどん加速されるのを目の当たりにして、びっくり。

「この水槽の水飲みますか？」先生の問いかけに「いや～飲みませ～ん」。「この水槽の水で顔を洗いますか？」「いや～洗えませ～ん」。カラスが用意したジュースを飲みながら、みんなで楽しく学びました。

いよいよお待ちかね、芋煮をいただきます。みんなお行儀よく食べました。お代わりをする子もいました。山田先生は子供たちから感想文を集めました。カラスにはできなかつた気配りでした。最後におみやげの参考資料をもらってお開きに。面白かったね、可部小のみなさん。来年も一緒にやろうね。

カラスのスケジュール等

カラスの定例会

11月 26日(水)
12月10日(水) 24日(水) 反省会

カラスのイベント等

11月28日(金) 太田川サミット
アステールプラザ 2F 15:30～17:30

12月28日 カラスの反省会
ひふみ会館 19:00～

16年3月28日(日) レトロバス100年祭
横川・可部でイベント開催
実物と同サイズのバスが可部へ

こどもたちの感想

- 大きなカワニナ、こんなのはじめて見た
- キーワード 水・植物・生物
- 魚がキラキラしていました。とてもキレイでした
- 水の中 きれいにおよぐ さかなたち
- 一番心に残ったことは休けいした所のふうけいです。
- 来年もぜったい来る。
- 人間の手ではできないすばらしいけしきがある
- いろいろなことをはじめてしました